

ジョブサポーターからの一言

第20話

「面接練習の 必要性について



普段、大学や短大で学生の就職活動の支援を行っているとき、面接練習を希望する学生が多くいます。最初は全く自分の実力が発揮できず、言葉が出てこなかったり、質問の意味をとりちがえて全く違うことを話してしまう学生、緊張で落ち着きがなかったり、集団面接でまわりが気になって仕方がない学生など、面接を苦手とする学生は多いものです。

友人たちやLINE等で話をするばかりで、人前でキチンと簡潔な説明・話し方をする機会が少ない。ひと昔前のように4年生からの就職活動開始であればゼミや演習等で発言する機会を得てから就活もできますが、3年生の活動が中心のここ数年の状況では準備不足になっていると言えます。

続きは次のページへ

前ページより続き

でも安心して下さい。「習うより慣れろ」です。実践的な面接の練習は繰り返し行うことで、格段に向上させることができます。

経験豊富なジョブサポーターが定番の質問をもとに学生の対応状況を見て、適切なアドバイスと指導を行うと、対応力がついてきますので、どんどん活用して下さい。

ジョブサポーターの面接練習を活用した学生に共通して言えることは、「終わった後にとにかく笑顔で帰られている」ことです。

学卒ジョブサポーターは、県内15か所の全てのハローワークに配置されております

今回はハローワーク東松山 学卒ジョブサポーターからの「一言」です